

シラス卵稚仔分布調査情報(No.3)

平成 29 年 6 月 20 日(火) に、調査船「いばらき丸」によりシラス卵稚仔調査を行いました。調査結果は以下のとおりです。

【調査内容】

銚田市玉田沖の定線において、ノルパックネットによる卵採集調査（水深 150m からの鉛直曳き）、ニューストーンネットによる仔稚魚採集調査（表層曳き）、および海洋観測調査を行いました。



調査船いばらき丸(179トン)

【調査結果】

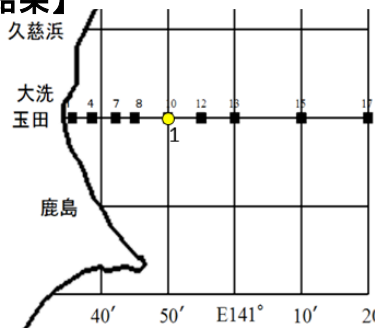


図1 カタクチイワシ卵採集結果

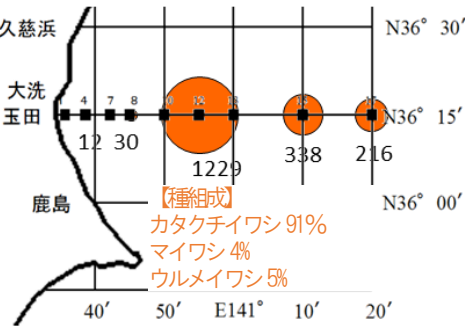


図2 イワシ類仔魚採集結果
 (マシラス、ウルメシラスを含む)

- 調査点
 (上の数字は地点番号)
- 採集量
 (下の数字は採集数)

表 調査点及び海洋観測結果

調査位置 (北緯36° 15')	st(調査点)	1	4	7	8	10	12	13	15	17
	経度		140° 35'	38'	42.5'	45'	50'	55'	141° 00'	10'
離岸距離(マイル)		1	4	8.5	11	16	21	26	36	46
水深(m)		14	25	39	53	121	281	510	770	1000
観測結果	水温 0m	19.1	18.0	18.6	19.0	19.5	19.7	19.4	19.3	19.7
	50m	-	-	-	-	14.3	15.4	16.3	16.3	16.1
	100m	-	-	-	-	12.3	12.0	13.2	13.8	13.2
	流向° (10m)	-	101	167	164	178	175	177	135	129
流速Kt(10m)	-	0.3	0.4	0.4	0.5	0.8	0.5	0.7	0.5	

【まとめ】

調査ラインの水温は、表層で 18~19℃ 台、水深 100m 層で 12~13℃ 台でした。また、潮流については調査点全点で逆潮が観測されました(上表)。

カタクチイワシ卵の採集量はごくわずか(1粒)でした(図1)。またイワシ類仔魚の採集量は平年を上回りましたが、多くは沖側(140° 55' 以東)に分布していました(図2)。種組成をみると、マイワシおよびウルメイワシ仔魚の割合は1割程度に減少しました。

現在、沿岸域への暖水波及が弱まり(図3)、シラス漁獲量は減少傾向にあります。今回の調査では、漁獲加入前のシラスが沖側で確認されましたが、今後の海況は逆潮傾向が続くと予測されているため、沿岸域への来遊は、先月に比べ低調となる見通しです。

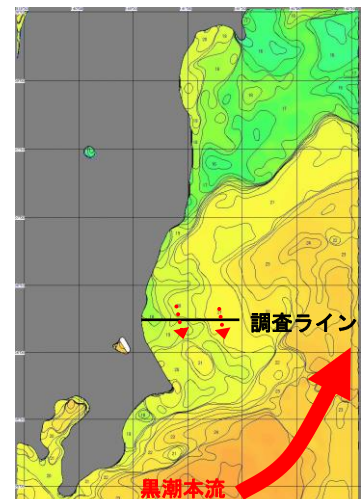


図3 NOAA衛星画像(6/21)